

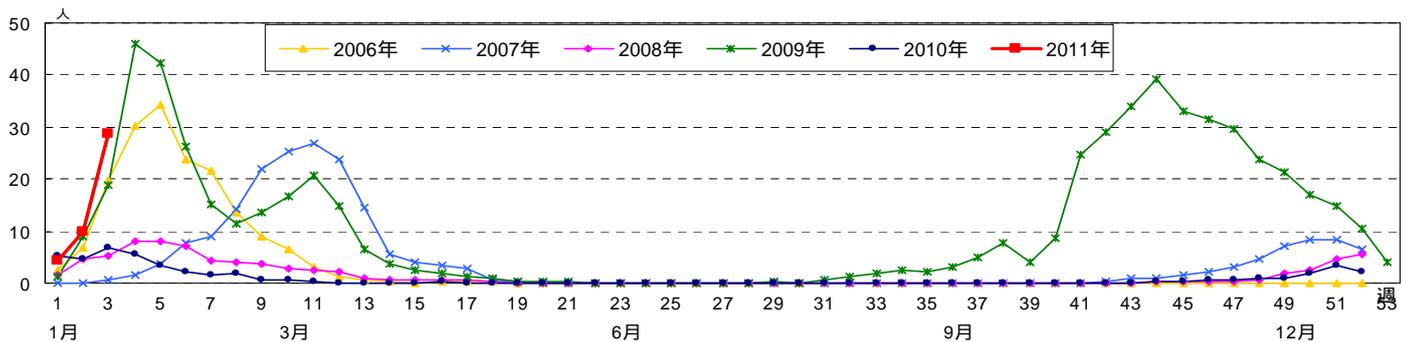
横浜市インフルエンザ流行情報 第4号

横浜市健康福祉局健康安全課 / 横浜市衛生研究所

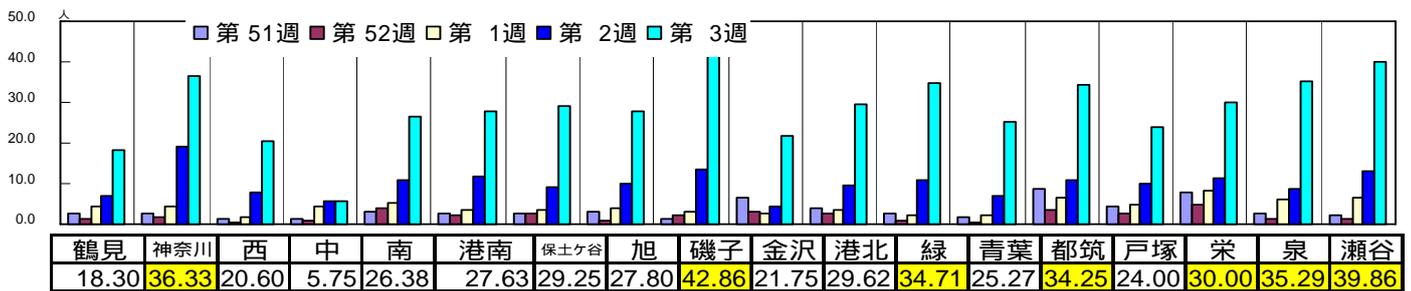
トピックス

- ・ 第3週(1月17日からの週)で、市内の定点当たり28.62と、注意報レベルです。
- ・ 市内の迅速キットでの結果は、第52週まではB型が3割を占めていましたが、第3週ではA型が約96%と殆どA型になっています。
- ・ 施設閉鎖は、第1週、第2週ではゼロでしたが、第3週では、22施設で患者415人と急増しています。
- ・ 病原体検出状況では、A新型、A香港、Bと3つの型が検出されています。
- ・ 市内の集団発生でも、A新型、A香港、Bの3つの型が検出されています。
- ・ 今のところワクチン株との大きな遺伝子変異は認められていません。ワクチンは有効と思われます。

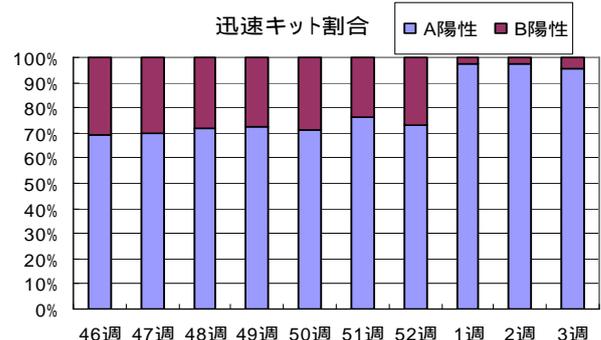
1 市内150か所(小児科91 内科59)の定点医療機関からの報告で、第50週(12月13日～19日)に「流行のめやす」である「定点あたり1」を超え、第3週(1月17日～)では定点あたり28.62と、第2週の3倍程度に急増しています。



2 行政区別状況: 7区が警報域でした。

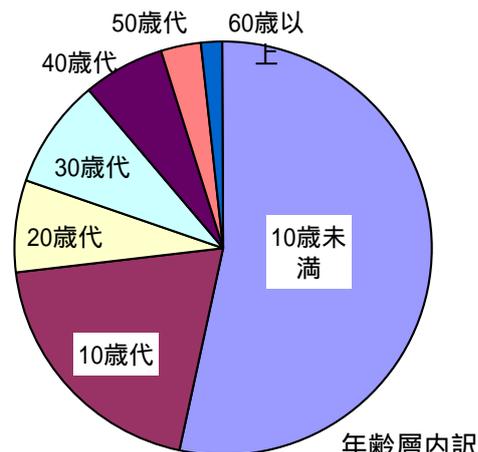


3 迅速キット内訳; 第52週までは、市内3割がB型でしたが、第3週ではA陽性が3513件、B陽性が156件(4%)と、微増しています。18区中、16区でB型が検出されています。



4 施設閉鎖状況:第1週、第2週の報告はありませんでしたが、第3週では、全園休園が1件、学年閉鎖が2件、学級閉鎖が19件、報告されています。総患者数は415人でした。

5 年齢層別集計:第1週では、20歳以上の割合は47%でしたが、第3週での20歳以上の割合は26%でした。4人に3人が、20歳未満と思われます。



6 病原体検出状況(病原体定点からの検体):

12月:A 新型11件、A 香港3件、B 型2件、アデノウイルス4件
 コロナウイルス4件、RS ウイルス8件

1月:A 新型14件、A 香港6件、B 型1件、RS1件、
 ヒトメタニューモウイルス1件

アデノウイルスとA 香港、アデノウイルスとA 新型、コロナウイルスとA 新型、RS ウイルスとA 新型、A 新型とA 香港 の同時の検出も認められています。

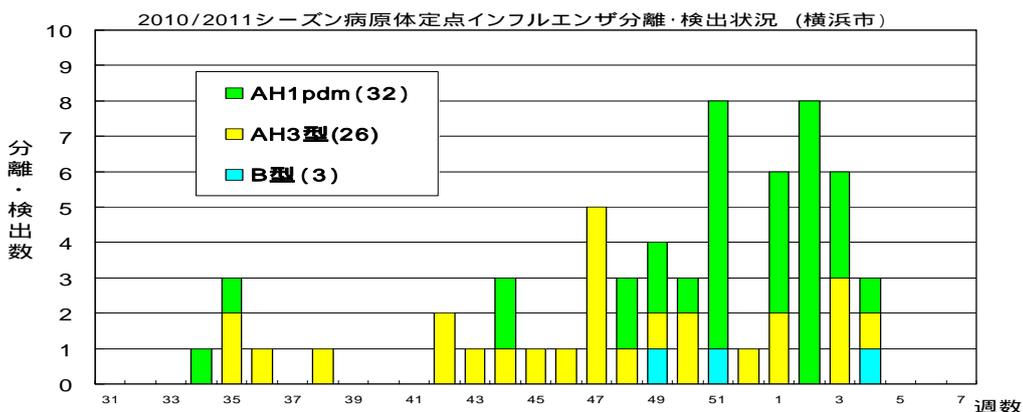
7 病原体検出状況(集団感染):

12月:集団4件:A 香港3件、B 1件

1月:集団11件:A 新型が6件、A 香港が5件、B 型が1件、検査中が1件です。
 1事例は、A 新型とA 香港が同じ集団から検出されています。
 1事例は、A 新型とB 型が同じ集団から検出されています。

8 今シーズンすでにインフルエンザによる急性脳炎が3件報告されています。1件はA 香港によるものでした。残りの2件は、インフルエンザA 型によるものですが、subtype まで検出されていません。

9 今シーズンの病原体検査結果内訳:3種類のインフルエンザが、現時点でも検出されています。



今シーズンは、市内で3つのインフルエンザウイルスが循環しています。インフルエンザの治癒後も別の型のインフルエンザに感染する可能性がありますので、一旦罹患しても感染防御を継続することが大切です。

【お問い合わせ先】

横浜市健康福祉局健康安全課

TEL045(671)2463

横浜市衛生研究所感染症・疫学情報課

TEL045(754)9816

同

検査研究課ウイルス担当

TEL 045(754)9804